



歯周病治療の臨床

疾患改善のキモは歯科医師にアリ!

編集委員

飯野 文彦(東京都・いいの歯科医院)

大八木孝昌(神奈川県・歯科おおよぎ)

歯周病治療の基礎を見落とすな!

“日本人の8割が罹患している”ともいわれる歯周病だが、近年の歯周病治療は急速に進歩を遂げた。しかし、基礎を見落とした歯周病治療が行われてしまい、なかなか改善がみられない場合や、治療を歯科衛生士に任せっきりにして、歯科医師がほとんど治療にかかわらない場合も多いようである。本増刊号では、歯周病を治すには何が必要なのか、治療の基礎を見直し、歯科医師がおさえておくべきポイントを解説する。



A4判変型・176頁・オールカラー
本体5,000円+税

CONTENTS

序章 歯周病原性細菌と免疫

- 1 歯周病をどう捉えるか? 落合邦康

第1章 歯周基本治療

- 1 プラークコントロール 飯野文彦
2 ルートプレーニングに必要な知識
——歯と歯周組織の解剖学 江澤庸博
3 歯周病治療を主軸に置いた院内システム 稲垣伸彦
4 歯周病治療における咬合調整 大八木孝昌
5 歯周病治療におけるデンタルX線とその読像 若松尚吾

第2章 歯周外科処置

- 1 歯周組織再生療法におけるフラップデザイン 安藤 修
2 再生療法材料の選択 二階堂雅彦
3 ソフトティッシュマネジメント 中村茂人
4 切除療法と組織付着療法 安藤正明

第3章 歯周病と全身疾患

- 1 歯周病が全身を蝕む 安田直正 他

第4章 咬合治療

- 1 歯周病における咬合治療 川口 敦
2 歯周・矯正治療 土岡弘明
3 歯周・インプラント治療 吉野宏幸
4 咬合崩壊を伴う歯周病治療 鎌田征之

第5章 SPT・メインテナンス

- 1 メインテナンスの目的とは
——歯科衛生士の立場から 南 香織
2 歯周病患者の補綴物製作
——歯科技工士の立場から 津久井貴光
3 患者が主役のSPT・メインテナンス
——歯科医師の立場から 吉村英則